

平成 29 年

火災・救急の概況

火 災

27 件

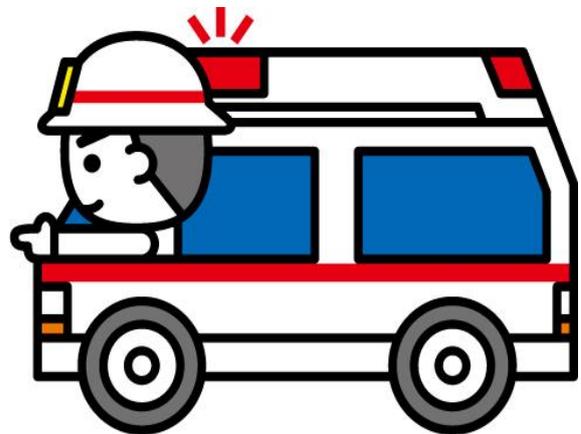
大洲市	16 件
内子町	11 件



救 急

3,335 件

大洲市	2,464 件
内子町	865 件
管轄外	6 件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



火災の概況

1 火災概要

平成29年中に組合管内で発生した火災は27件で、建物焼損棟数13棟、建物焼損床面積478平方メートル、死者数4人、負傷者数4人、30日死者数（負傷後48時間以上30日以内の死者数）1人、り災世帯数7世帯、り災人員13人、損害額53,243千円となっている。

前年と比較すると、死者数、負傷者数及び損害額が増加しており、建物焼損棟数、建物焼損床面積、り災世帯数及びり災人員については減少している。

2 出火件数

出火件数は27件で、前年と比べ3件増加しており、1ヶ月あたり約2件の割合で火災が発生している。

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は4.41件であり、全国の出火率2.87件（平成28年）と比較すると1.54件高くなっている。

(1) 市町別出火件数

市町別出火件数は、大洲市16件（内訳：大洲14件、長浜1件、肱川0件、河辺1件）、内子町11件（内訳：内子6件、五十崎3件、小田2件）となってい

(2) 火災種別

火災種別にみると、建物火災が13件（全火災の48.2%）で最も多く、次いでその他の火災が7件（25.9%）、車両火災が5件（18.5%）、林野火災が2件（7.4%）の順になっている。（2表、4表）

(3) 四季別出火件数

四季別出火件数は、春季及び夏季における火災が9件と多く、次いで秋季6件、

3 損害額

損害額は、総損害額は53,243千円で前年より22,414千円増加している。内訳は、その他の損害額が最も多く42,360千円（79.6%）で、これは屋外に置かれた工業製品が焼損したためである。次いで、建物損害額の9,915千円（18.6%）であり、前年の27,489千円と比較すると17,574千円減少している。（1表）

また、1件あたりの損害額は、1,972千円であり、前年の1,285千円と比較すると687千円増加している。(7表)

4 出火原

出火原因別にみると、総出火件数27件のうち、原因が判明したものでは、「その他」を除き、「たき火」による出火が4件で最も多く、次いで「放火」「交通機関内配線」による出火がそれぞれ3件となっており、前年同様「たき火」の原因による出火が最も多くなっている。(8表)

5 初期消火対

火災初期における消火活動と、その効果の有無については、総出火件数27件のうち初期消火を試みたものは23件あり、このうち初期消火によって大事に至らなかった火災は13件である。(9表)

また、初期消火に効果のあったものは、「消火器」「水道、浴槽等の水をかけた」が5件、「水バケツ」が2件、「消火栓」が1件となっている。

6 死傷者

死傷者は、火災による死者は4人(応急消火義務者3人)、負傷者4人(応急消火義務者3人)、30日死者1人で、前年に比べ死者が2人増加、負傷者及び30日死者がそれぞれ1人増加となっている。(11表)

7 まとめ

以上、平成29年中の火災概況であるが、前年と比べて出火件数が3件、うち建物火災が5件増加、死者については2人増加している。り災人員は前年に比べ5人減少しているが、出火率は全国出火率を1.54件上回っている。出火原因は「たき火」によるものが4件と最も多く、その要因としては、火の取扱いの不注意が原因と考えられる。

このことから、防火対策の取り組みとして、住民に対して火の取扱いについて注意喚起を行い、より一層の火災予防に努める必要がある。

さらに、住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置、維持管理をより強く呼びかけるとともに、各地域における自主防災組織等の協力を得て、住民等を主体とした防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図る必要がある。

1表 火災の概況

区 分	単位	平成29年	平成28年	増 減
出 火 件 数	件	27	24	3
建 物	〃	13	8	5
林 野	〃	2	0	2
車 両	〃	5	5	—
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	7	11	▲ 4
焼 損 棟 数	棟	13	19	▲ 6
全 焼	〃	2	7	▲ 5
半 焼	〃	2	1	1
部 分 焼	〃	7	8	▲ 1
ぼ や	〃	2	3	▲ 1
建物焼損床面積	m ²	478	964	▲ 486
建物焼損表面積	m ²	140	41	99
林野焼損面積	a	7	28	▲ 21
死 者	人	4	2	2
負 傷 者	〃	4	3	1
30日死者	〃	1	0	1
り 災 世 帯 数	世帯	7	12	▲ 5
全 損	〃	2	6	▲ 4
半 損	〃	1	0	1
小 損	〃	4	6	▲ 2
り 災 人 員	人	13	18	▲ 5
損 害 額	千円	53,243	30,829	22,414
建 物	〃	9,915	27,489	▲17,574
林 野	〃	3	0	3
車 両	〃	965	623	342
船 舶	〃	0	0	—
航 空 機	〃	0	0	—
そ の 他	〃	42,360	2,717	39,643
爆 発 損 害 額	千円	0	12	▲ 12
出 火 率	件	4.41	3.87	0.54

※ ▲～減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

※ 損害額は、火災種別ごとの損害額を計上している。

2表 市町別火災状況

区 分 市町別		火 災 種 別					焼 損 面 積			死 傷 者			焼 損 棟 数	り 災 世 帯 数	損 害 額 (千 円)		
		合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建 物 床面積 (m ²)	建 物 表面積 (m ²)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			30日 死者	総 額	うち 建物損害
大 洲 市	大 洲	14	6	2	3		3	7	18	7	1	2	1	6	2	1,941	481
	長 浜	1	1					226	9					2		43,170	918
	肱 川																
	河 辺	1	1					179						2	1	3,112	2,772
	小 計	16	8	2	3		3	412	27	7	1	2	1	10	3	48,223	4,171
内 子 町	内 子	6	2		2		2								1	1,964	
	五十崎	3	2				1	66	111		3	2		2	2	3,055	2,947
	小 田	2	1				1	2						1	1	1	1
	小 計	11	5		2		4	66	113		3	2		3	4	5,020	2,948
合 計	27	13	2	5		7	478	140	7	4	4	1	13	7	53,243	7,119	

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
平成 29 年	大洲市	大洲	1		2		1	2	2	2	2	1	1		14	
		長浜				1									1	
		肱川														
		河辺			1										1	
	内子町	内子			1	1		1			1	1		1	6	
		五十崎	1		1	1									3	
		小田						1		1					2	
	合計			2		5	3	1	4	2	3	3	2	1	1	27

年別・市町別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
平成 28 年	大洲市	大洲		1	1			3	2	3	1		1		12	
		長浜	1			1				1					3	
		肱川			1									1	2	
		河辺														
	内子町	内子	1		2									1	4	
		五十崎												1	1	
		小田						1						1	2	
	合計			2	1	4	1	1	3	2	4	1		3	2	24

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	平成29年	平成28年
建 物 火 災	48.2	33.4
林 野 火 災	7.4	0.0
車 両 火 災	18.5	20.8
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	25.9	45.8
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	平成29年				平成28年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	9	33.3	49,133	92.3	6	25.0	11,509	37.3
夏 季 6月～8月	9	33.3	1,038	2.0	9	37.5	3,126	10.1
秋 季 9月～11月	6	22.3	174	0.3	4	16.7	16,127	52.3
冬 季 12月～2月	3	11.1	2,898	5.4	5	20.8	67	0.3
合 計	27	100.0	53,243	100.0	24	100.0	30,829	100.0

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減率 (%)	
		平成29年	平成28年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	4.41	3.87		
	出 火 件 数	27	24	12.5	
	うち建物火災	13	8	62.5	
	人 口	61,195	62,033	▲1.4	
	世 帯 数	27,295	27,367	▲0.3	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	4.04	3.44	
		出 火 件 数	14	12	16.7
		うち建物火災	6	4	50.0
		人 口	34,647	34,923	▲0.8
	世 帯 数	15,576	15,525	0.3	
	長 浜	出 火 率	1.49	4.34	
		出 火 件 数	1	3	▲66.7
		うち建物火災	1	2	▲50.0
		人 口	6,718	6,919	▲2.9
	世 帯 数	3,180	3,241	▲1.9	
	肱 川	出 火 率	0	8.76	
		出 火 件 数	0	2	▲100.0
		うち建物火災	0	1	▲100.0
		人 口	2,204	2,282	▲3.4
	世 帯 数	969	985	▲1.6	
	河 辺	出 火 率	14.35	0	
		出 火 件 数	1	0	—
		うち建物火災	1	0	—
		人 口	697	748	▲6.8
	世 帯 数	383	405	▲5.4	
内 子 町	内 子	出 火 率	6.41	4.21	
		出 火 件 数	6	4	50.0
		うち建物火災	2	1	100.0
		人 口	9,362	9,498	▲1.4
	世 帯 数	3,959	3,969	▲0.3	
	五 十 崎	出 火 率	5.74	1.91	
		出 火 件 数	3	1	200.0
		うち建物火災	2	0	—
		人 口	5,222	5,227	▲0.1
	世 帯 数	2,087	2,067	1.0	
	小 田	出 火 率	8.53	8.21	
		出 火 件 数	2	2	—
うち建物火災		1	0	—	
人 口		2,345	2,436	▲3.7	
世 帯 数	1,142	1,175	▲2.8		

※ ▲は減

※ 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

※ 増減率については、表示単位未満を四捨五入した。

※ 人口は平成29年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。

7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年 別	出火件数	損 害 額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成20年	35	123,296	3,523
平成21年	47	47,887	1,019
平成22年	25	27,931	1,117
平成23年	26	24,976	961
平成24年	31	43,479	1,403
平成25年	31	23,913	771
平成26年	27	33,803	1,252
平成27年	26	21,300	819
平成28年	24	30,829	1,285
平成29年	27	53,243	1,972

8表 出火原因別件数及び損害額

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
た き 火	4	14.8	10	0.0
放 火	3	11.1	12	0.0
交通機関内配線	3	11.1	40	0.1
ス ト ー ブ	1	3.7	39	0.1
こ ん ろ	1	3.7	20	0.1
ハンドトーチ	1	3.7	1	0.0
取 灰	1	3.7	11	0.0
電 気 コ ー ド	1	3.7	3,112	5.8
ラ イ タ ー	1	3.7	992	1.9
不 明	2	7.4	2,151	4.0
そ の 他	9	33.4	46,855	88.0
合 計	27	100.0	53,243	100.0

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

9表 初期消火の対応状況

消火器具別 効 果			水道、浴槽等の水をかけた	消火器	水バケツ	消火栓	寝具、衣類等をかかけた	その他	合 計
			効 果 有	5	5	2	1	0	0
効 果 無			2	1	3	3	0	1	10

10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年 別	住宅 (併用含む)	作業場 工 場	倉庫 納屋	店舗	事務所	共同住宅	その他	合計
	平成29年	7	3	2	1	0	0	0
平成28年	6	1	0	0	1	0	0	8

11表 死傷者の区分

区 分	死 者	負 傷 者	30日死者
消 防 吏 員	0	0	0
消 防 団 員	0	1	0
応急消火義務者	3	3	1
消 防 協 力 者	0	0	0
そ の 他 の 者	1	0	0
合 計	4	4	1

※ 30日死者とは、火災による負傷後48時間以上30日以内の死者。

次のページから救急の概況



救急の概況

1 救急概要

平成29年中における組合管内の救急概要は、出動件数3,335件（前年比114件増）、搬送人員3,179人（前年比135人増）であり、前年と比較して増加している。（1表）

また、組合に配置している救急車6台全てが高規格救急車で、全ての救急事案に救急救命士が同乗し出場している。（2表）

2 事故種別救急概況

事故種別救急件数は、最も多いのが急病で1,967件（59.0%）、次いでその他（主に転院搬送）535件（16.0%）で、以下、一般負傷、交通事故、労働災害、自損行為、運動競技の順となっている。前年と比較すると、増加しているのは、火災2件、労働災害13件、運動競技4件、一般負傷29件、加害4件、自損行為3件、急病63件、その他（主に転院搬送）6件、他の事故種別については、減少となっている。（2・3表）

3 市町別救急概況

市町別救急件数は、大洲市が全体の73.9%（2,464件）で、内子町が25.9%（865件）、管轄外が0.2%（6件）となっている。

大洲市の内訳としては大洲1,954件（79.3%）、長浜367件（14.9%）、肱川120件（4.9%）、河辺23件（0.9%）で、内子町の内訳としては内子517件（59.8%）、五十崎214件（24.7%）、小田134件（15.5%）となっている。（4表）

4 時間帯別救急状況

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が10時から12時の431件、最も少ない時間帯は、4時から6時の101件となっている。（5表）

5 月別曜日別救急状況

月別の救急件数は、7月の330件が最も多く（前年は1月の300件）、最も少ない月は、2月の245件（前年は4月の235件）である。

また、曜日別の救急件数は、月曜日の523件が最も多く（前年は木曜日の482件）、最も少ないのは、日曜日の423件（前年は、土曜日の438件）である。（6表）

6 応急処置状況

救急隊員が行った応急処置の状況は、血中酸素飽和度測定、血圧測定、保温、その他の応急処置（検温等）、心電図、聴診器による聴診、酸素吸入の頻度が高く、除細動は3件実施している。

救急救命士が行う救急救命処置については、ラリングアルマスク等を用いた気道確保を35件、気管挿管を12件、静脈路確保（心肺機能停止後）を31件、薬剤投与を6件実施している。また、平成28年6月1日から開始となった心肺機能停止前の重症傷病者に対する静脈路確保及び輸液は7件、血糖測定は21件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は4件となっている。（7表）

7 医療機関別搬送人員状況

収容医療機関の状況は、搬送人員の83.5%（2,654人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、98.8%（2,621人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は、525人であり、その57.7%に当たる303人はその他（主に転院搬送）によるものである。（8表）

8 市町人口割救急状況

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生割合を比較すると、最も発生頻度が高いのは小田の57件、次いで大洲56件、長浜55件、内子55件、肱川54件、五十崎41件となっており、最も発生頻度が低いのは河辺で33件となっている。（9表）

9 高齢者事故種別搬送人員状況

高齢者（「65歳以上の者」をいう。以下同じ）に関する救急状況は、搬送人員2,143人で昨年に比べ56人増加しており、全搬送人員の67.4%を占めている。

また、事故種別で見ると、急病が1,296人（60.5%）と最も多く、次いで一般負傷368人（17.2%）、その他（主に転院搬送）363人（16.9%）、交通事故94人（4.4%）の順となっている。（10表）

10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

高齢者急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系が182人（14.0%）と最も多く、次いで心疾患179人（13.8%）、脳疾患133人（10.3%）、消化系124人（9.6%）の順となっている。（11表）

1表 年別救急業務状況

区分 年 別	出 場 件 数						搬 送 人 員					
	合 計	大洲消防署本署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内子消防署本署	小田出張所	合 計	大洲消防署本署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内子消防署本署	小田出張所
平成 2 9 年	3,335	1,886	369	190	719	171	3,179	1,773	359	188	699	160
							2,143	1,137	267	137	476	126
平成 2 8 年	3,221	1,694	388	191	759	189	3,044	1,622	357	179	706	180
							2,087	1,052	274	137	481	143
昨 年 比 増 減	114	192	▲ 19	▲ 1	▲ 40	▲ 18	135	151	2	9	▲ 7	▲ 20
							56	85	▲ 7	0	▲ 5	▲ 17

※ ▲は減

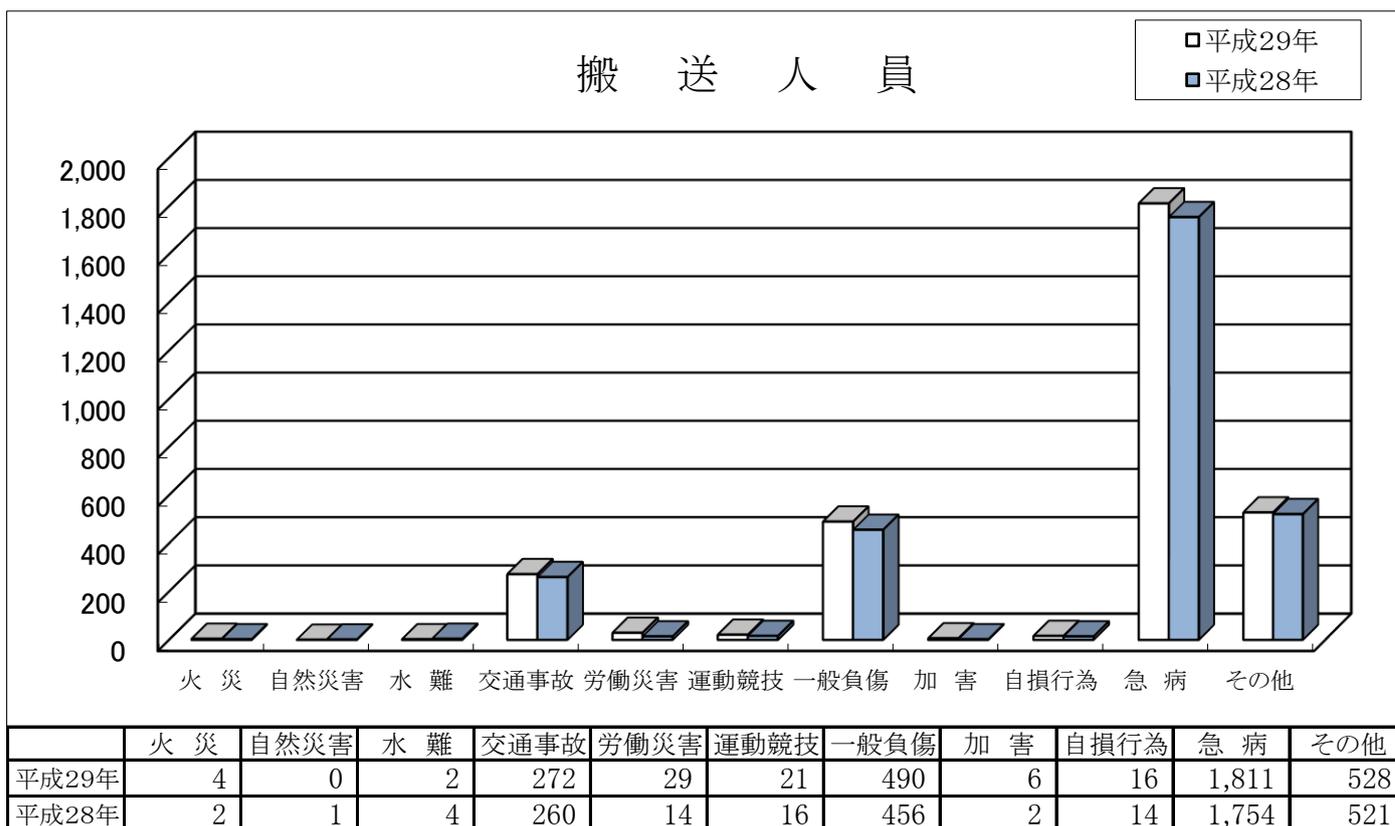
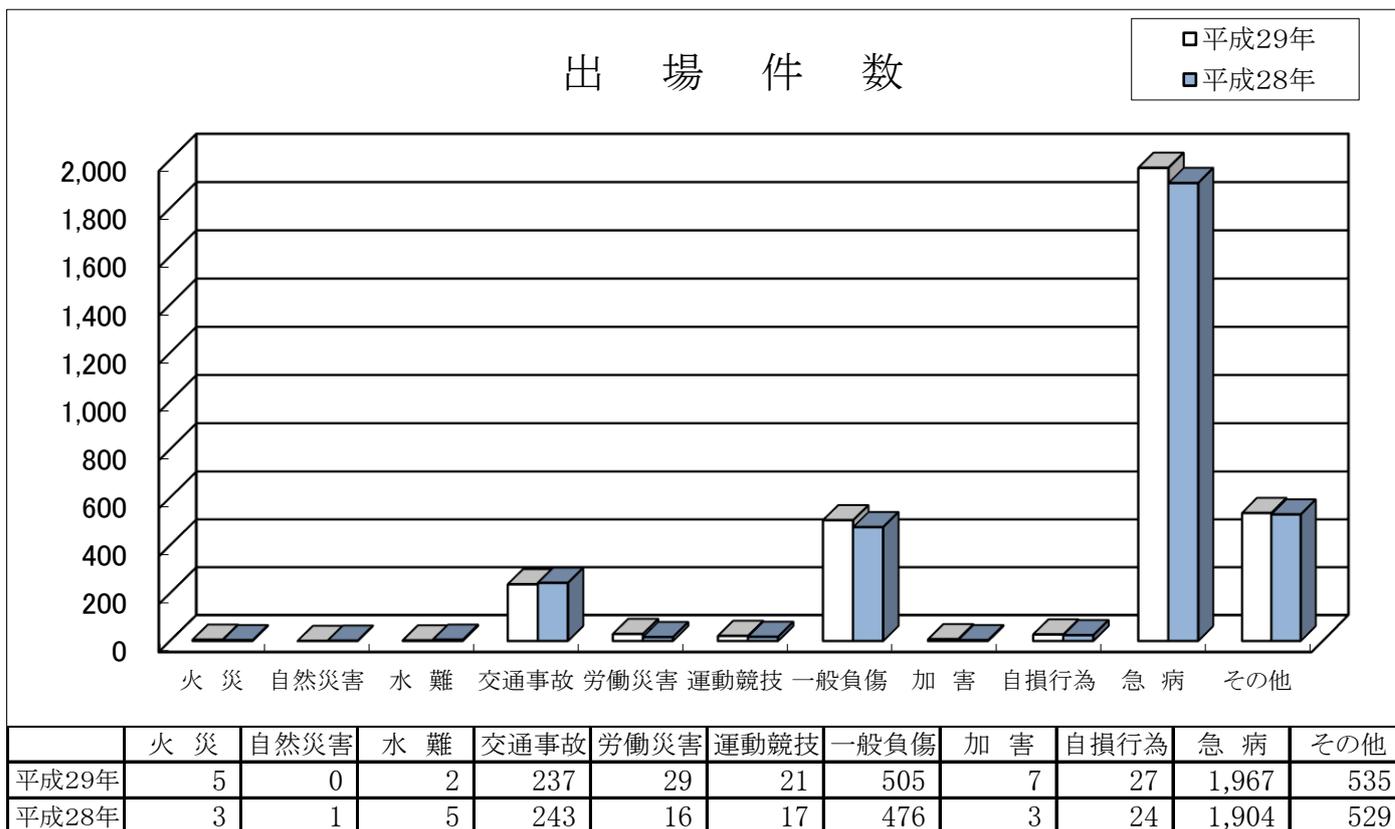
下段の数値は65歳以上

2表 事故種別の救急概要

<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">区分</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">組 合</div> </div>							平成 29 年											
	出場件数			搬送人員			大洲高規格隊1		大洲高規格隊2		長浜高規格隊		川上高規格隊		内子高規格隊		小田高規格隊	
	平成 29 年	平成 28 年	増 減	平成 29 年	平成 28 年	増 減	出 場 件 数	搬 送 人 員										
火 災	5	3	2	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1
自 然 災 害	0	1	▲ 1	0	1	▲ 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	2	5	▲ 3	2	4	▲ 2	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0
交 通 事 故	237	243	▲ 6	272	260	12	98	107	30	35	21	23	14	19	61	75	13	13
労 働 災 害	29	16	13	29	14	15	7	7	3	3	3	3	4	4	9	9	3	3
運 動 競 技	21	17	4	21	16	5	11	11	1	1	3	3	0	0	6	6	0	0
一 般 負 傷	505	476	29	490	456	34	181	174	43	43	89	87	29	29	121	117	42	40
加 害	7	3	4	6	2	4	6	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
自 損 行 為	27	24	3	16	14	2	13	9	4	2	1	0	1	0	6	3	2	2
急 病	1,967	1,904	63	1,811	1,754	57	910	813	142	131	235	226	120	116	453	426	107	99
そ の 他	535	529	6	528	521	7	210	205	226	226	16	16	20	18	61	61	2	2
合 計	3,335	3,221	114	3,179	3,044	135	1,437	1,332	449	441	369	359	190	188	719	699	171	160

※ ▲は減

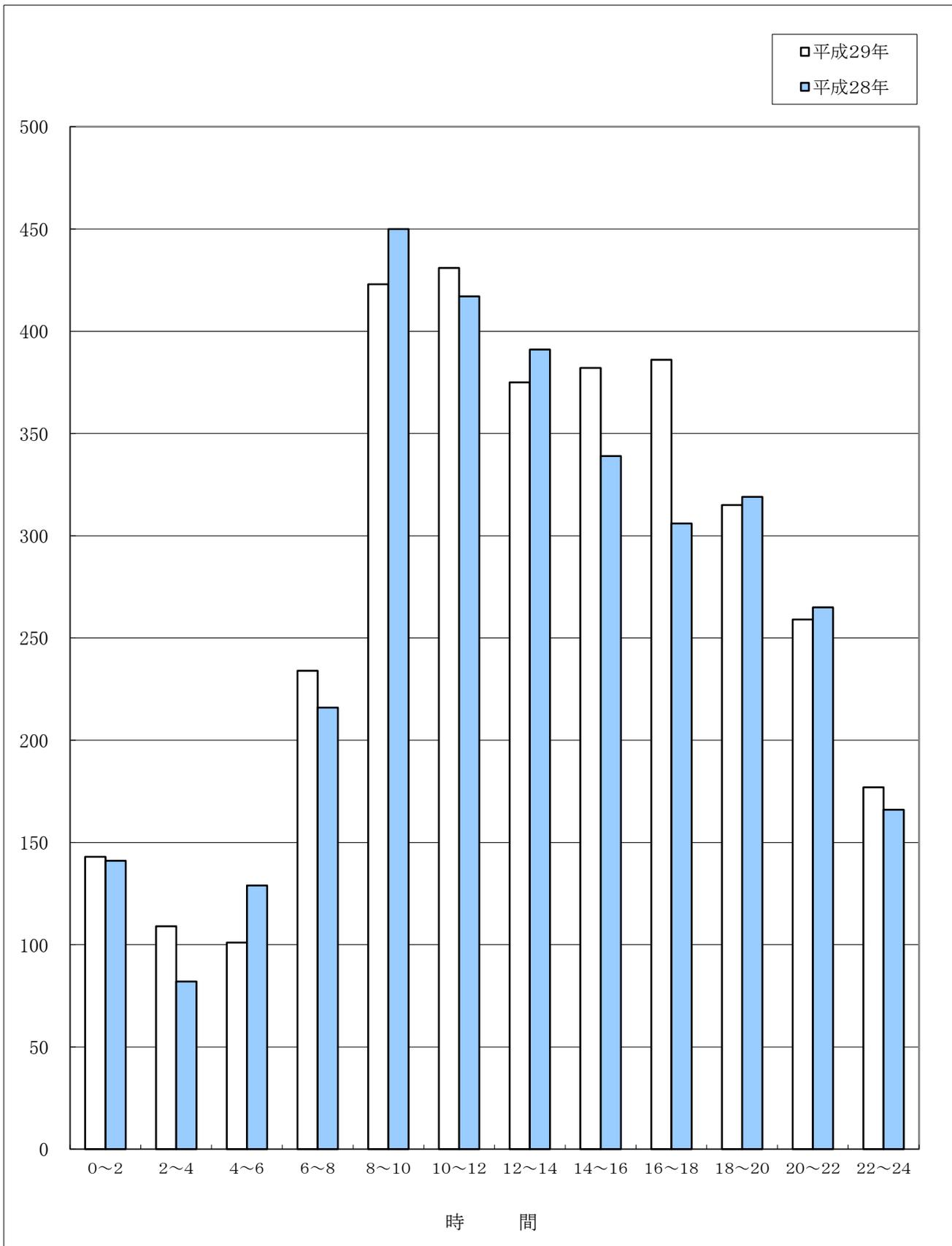
3表 事故種別出場件数・搬送人員



4表 市町別救急業務状況

市町 事故種別	組合	大 洲 市				内 子 町			管轄外
		大 洲	長 浜	肱 川	河 辺	内 子	五十崎	小 田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急 病	1,967	1,080	235	82	16	339	124	89	2
	1,811	973	226	77	16	322	115	82	0
一般負傷	505	230	91	22	4	70	51	37	0
	490	222	90	22	4	67	50	35	0
交通事故	237	136	20	11	0	50	13	3	4
	272	151	21	16	0	61	15	4	4
自損行為	27	16	1	1	0	7	0	2	0
	16	11	0	0	0	3	0	2	0
労働災害	29	12	3	0	1	4	6	3	0
	29	12	3	0	1	4	6	3	0
運動競技	21	14	2	0	0	4	1	0	0
	21	14	2	0	0	4	1	0	0
加 害	7	6	0	1	0	0	0	0	0
	6	5	0	1	0	0	0	0	0
火 災	5	1	0	0	0	0	4	0	0
	4	1	0	0	0	0	3	0	0
水 難	2	0	1	1	0	0	0	0	0
	2	0	1	1	0	0	0	0	0
そ の 他	535	459	14	2	2	43	15	0	0
	528	454	14	0	2	43	15	0	0
合 計	3,335	1,954	367	120	23	517	214	134	6
	3,179	1,843	357	117	23	504	205	126	4

5表 時間帯別救急出場件数



6表 月別曜日別救急出場状況

曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	合計
1 月	41	60	41	24	47	51	34	298
2 月	28	39	41	33	32	33	39	245
3 月	24	33	46	41	39	36	40	259
4 月	46	40	29	39	30	32	43	259
5 月	24	52	50	48	43	36	43	296
6 月	25	47	37	24	39	49	35	256
7 月	49	67	29	42	41	45	57	330
8 月	32	28	56	33	44	35	39	267
9 月	32	31	32	43	36	40	42	256
10 月	43	39	48	30	34	37	29	260
11 月	44	49	50	40	55	39	31	308
12 月	35	38	40	44	50	42	52	301
合計	423	523	499	441	490	475	484	3,335

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	1,811	270	489	604	3,174
処置項目					
止血	12	21	52	9	94
固定	25	82	151	36	294
人工呼吸	27	1	7	7	42
心マッサージ	30	1	6	5	42
うち自動	20	1	6	2	29
心肺蘇生	55	3	4	8	70
うち自動	11	1	1	1	14
酸素吸入	446	28	31	200	705
気道確保	96	6	11	18	131
うち経鼻	5	0	1	1	7
うち異物除去	4	0	1	0	5
ラリングアルマスク等	26	1	3	5	35
気管挿管	6	0	4	2	12
保温	1,236	116	286	417	2,055
被覆	9	39	101	16	165
在宅療法継続	11	0	1	0	12
点滴処置	1	0	0	0	1
外傷処置	2	0	0	0	2
その他	8	0	1	0	9
ショックパンツ	0	0	0	0	0
除細動	2	0	0	1	3
静脈路確保(心肺機能停止前)	6	0	1	0	7
静脈路確保(心肺機能停止後)	19	1	6	5	31
血糖測定	20	0	0	1	21
ブドウ糖投与	4	0	0	0	4
薬剤投与	5	0	1	0	6
その他の応急処置	1,279	37	196	229	1,741
血圧測定	1,708	261	465	586	3,020
聴診器による聴取	511	58	79	71	719
血中酸素飽和度測定	1,744	268	478	589	3,079
心電図	606	16	34	172	828
合計	7,851	938	1,910	2,370	13,069

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
		急	病		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急告示医療機関	国立	2	2	4	4	1	1	44	44	51	51		
	公立	550	98	88	9	154	27	151	105	943	239		
	公的	19	19			2	2	48	48	69	69		
	私的病院	1,173	6	172	2	324		259	6	1,928	14		
	私的診療所			1		1		1		3			
	計	1,744	125	265	15	482	30	503	203	2,994	373		
その他の医療機関	国立	3	3					10	10	13	13		
	公立	19	19	6	6	6	5	90	90	121	120		
	公的	16	16							16	16		
	私的病院	4	1			2				6	1		
	私的診療所	25	2	1				3		29	2		
	計	67	41	7	6	8	5	103	100	185	152		
計	国立	5	5	4	4	1	1	54	54	64	64		
	公立	569	117	94	15	160	32	241	195	1,064	359		
	公的	35	35			2	2	48	48	85	85		
	私的病院	1,177	7	172	2	326		259	6	1,934	15		
	私的診療所	25	2	2		1		4		32	2		
	計	1,811	166	272	21	490	35	606	303	3,179	525		
その他の場所	接骨院												
	その他												
	計												
合計		1,811	166	272	21	490	35	606	303	3,179	525		

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市 町		区 分	人 口 (人)	出 場 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)	人口1,000人当りの 発生件数(件)
大 洲 市	大	洲	34,647	1,954	1,843	56
	長	浜	6,718	367	357	55
	肱	川	2,204	120	117	54
	河	辺	697	23	23	33
内 子 町	内	子	9,362	517	504	55
	五	十 崎	5,222	214	205	41
	小	田	2,345	134	126	57
組 合 管 内			61,195	3,329	3,175	54
管 轄 外				6	4	
合 計				3,335	3,179	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市 町 区 分		事 故 種 別											合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
大 洲 市	大 洲	1	0	0	43	4	1	160	0	4	660	306	1,179
	長 浜	0	0	1	6	0	0	73	0	0	176	11	267
	肱 川	0	0	0	6	0	0	19	0	0	61	0	86
	河 辺	0	0	0	0	0	0	4	0	0	12	2	18
内 子 町	内 子	0	0	0	27	3	0	47	0	3	238	31	349
	五 十 崎	2	0	0	10	1	0	37	0	0	76	13	139
	小 田	0	0	0	1	0	0	28	0	2	73	0	104
その他(管轄外)		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計		3	0	1	94	8	1	368	0	9	1,296	363	2,143

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市 町		疾病分類									合 計
		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	
大 洲 市	大 洲	68	81	46	80	6	39	26	15	299	660
	長 浜	15	32	22	20	2	5	3	5	72	176
	肱 川	11	8	13	12	0	1	0	1	15	61
	河 辺	0	3	1	0	0	0	2	0	6	12
内 子 町	内 子	26	31	23	45	4	15	12	4	78	238
	五 十 崎	7	8	10	19	0	2	3	1	26	76
	小 田	6	16	9	6	5	3	3	0	25	73
合 計		133	179	124	182	17	65	49	26	521	1,296

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。